

平成20年4月

平成20年	1月 ~	3月期	実績
平成20年	4月 ~	6月期	見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目 次





































業況天気図	2
全産業の推移	3
製造業の推移	5
建設業の推移	9
小売業の推移	13
サービス業の推移	17
全産業の過去データの推移 * 平成14年1月以降	21
[集計資料]	






## D・Iとは

D・Iとは、デフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

# 業 況 天 気 図

	平成18年			平成19年			平成20年		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
製 造 業	 曇	 薄曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 曇	 曇	 曇	 雨
建 設 業	 雨	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨

D I 値	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

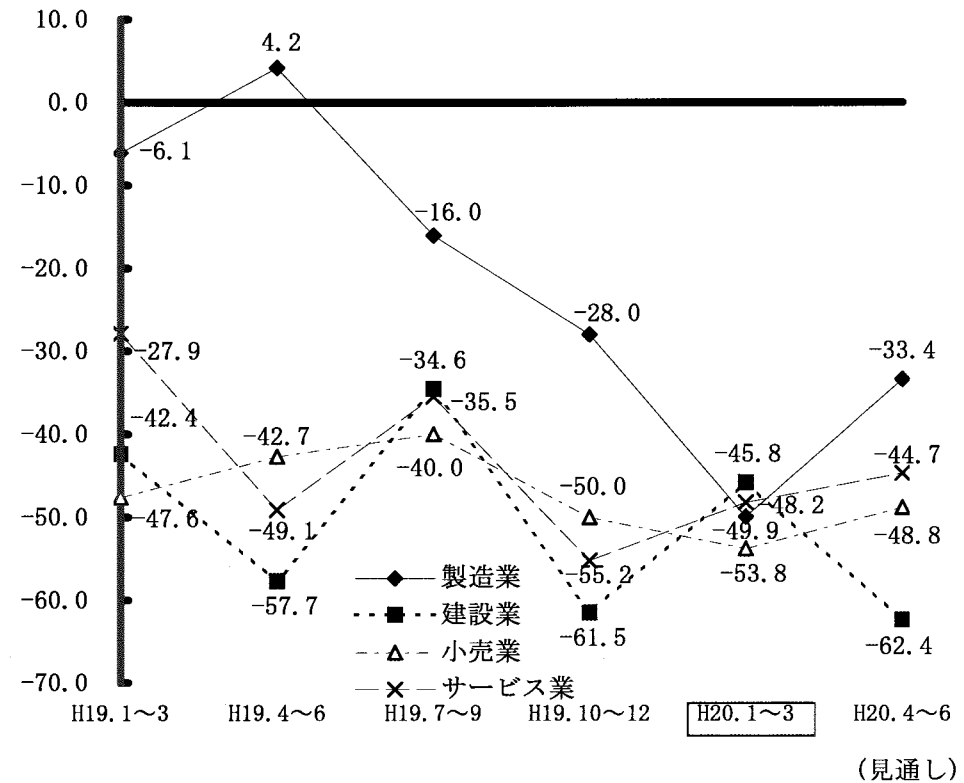
# 全産業の推移

— 前年同期比 —

## 売上高

今期の産業別売上高D・Iは、全業種の中で建設業とサービス業が改善したものの建設業は、上昇、下降を繰り返しており、不安定な状況を繰り返している。また、製造業と小売業は、前期から連続の悪化となった。特に製造業は、21.9ポイントも急激な悪化となり、3期連続の悪化となった。

来期予想では、サービス業が緩やかながら2期連続の改善、製造業と小売業も改善に転じる反面、建設業は悪化すると予想している。



※建設業の売上高は完成工事額

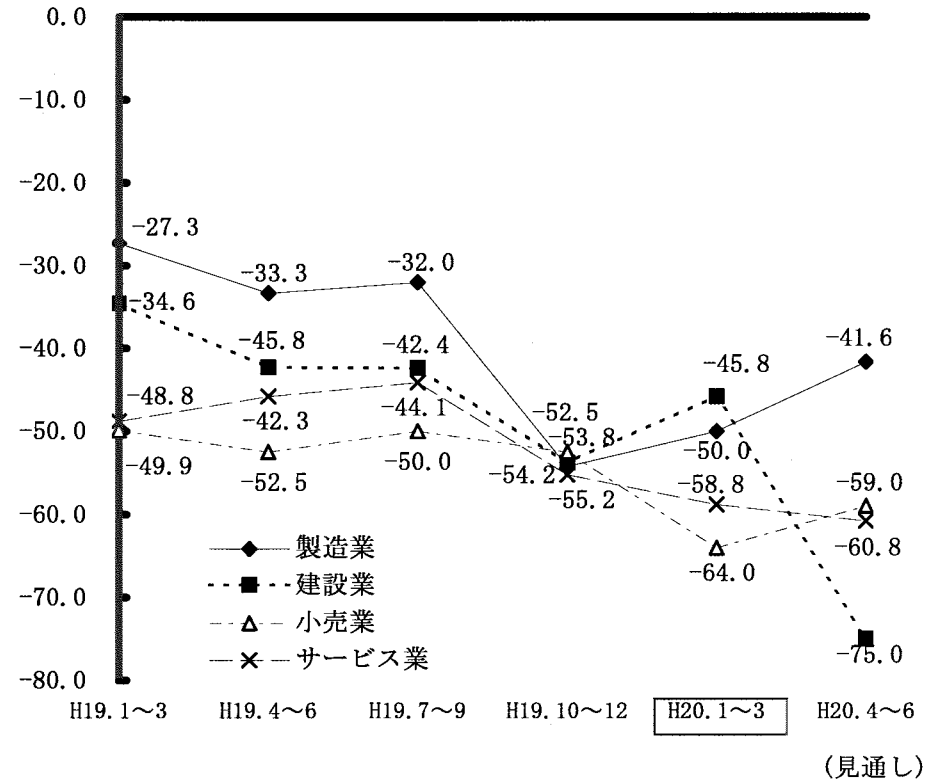
# 全産業の推移

— 前年同期比 —

## 採算

今期の産業別の採算D・Iは、全業種の中で製造業、建設業がやや改善したものの、小売業とサービス業が連続の悪化となった。特に小売業が11.5ポイントと悪化が激しかった。

来期の見通しは、製造業が2期連続の改善、小売業も改善に転じる反面、サービス業が緩やかながら3期連続の悪化なり、建設業は29.2ポイントと急激な悪化になると予想している。



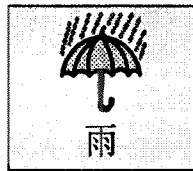
※採算は各業種とも経常利益

# 製造業の推移

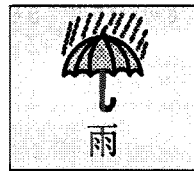
— 前年同期比 —

## 売上高

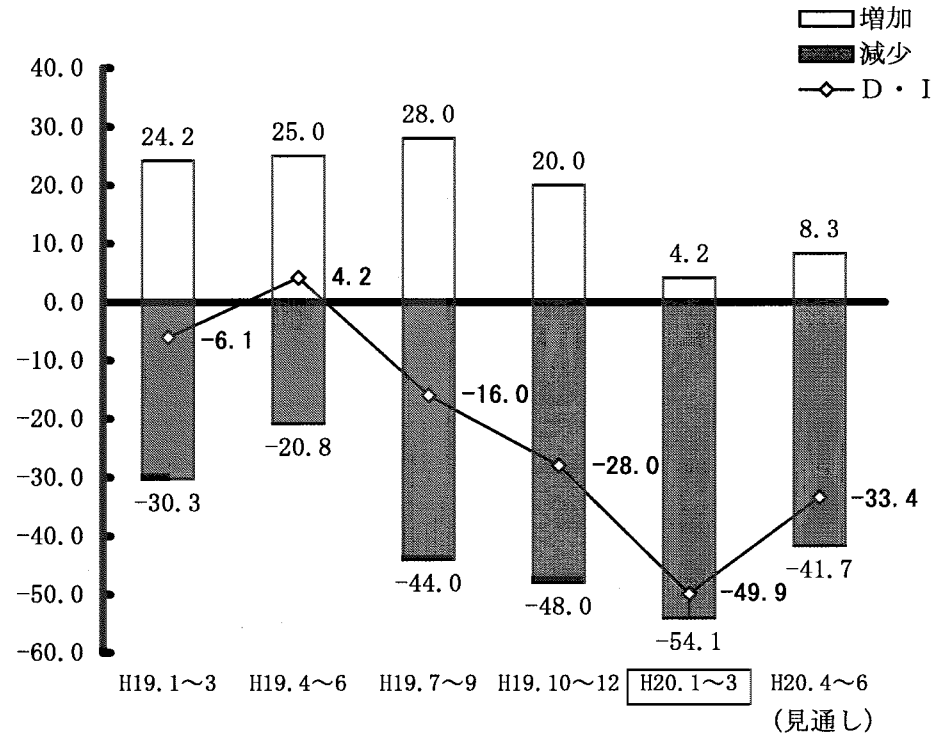
<今 期>



<来期見通し>



製造業の売上高D・Iは、前期から21.9ポイントと大幅な悪化となり、厳しい状況となった。  
また、来期の見通しは、逆に16.5ポイント改善すると見る向きが多い。

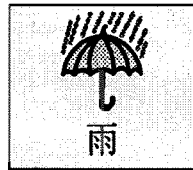


# 製造業の推移

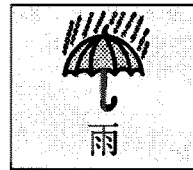
— 前年同期比 —

## 採算

<今 期>

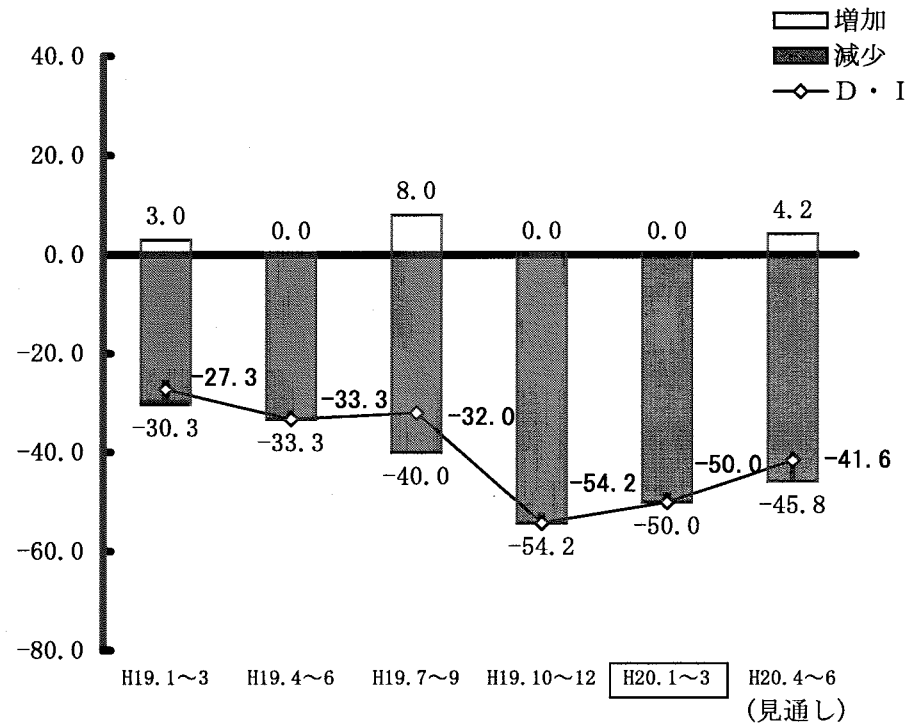


<来期見通し>



製造業の採算D・Iは、前期から4.2ポイント上昇とやや改善した。

また、来期の見通しも引き続き改善すると予想している。

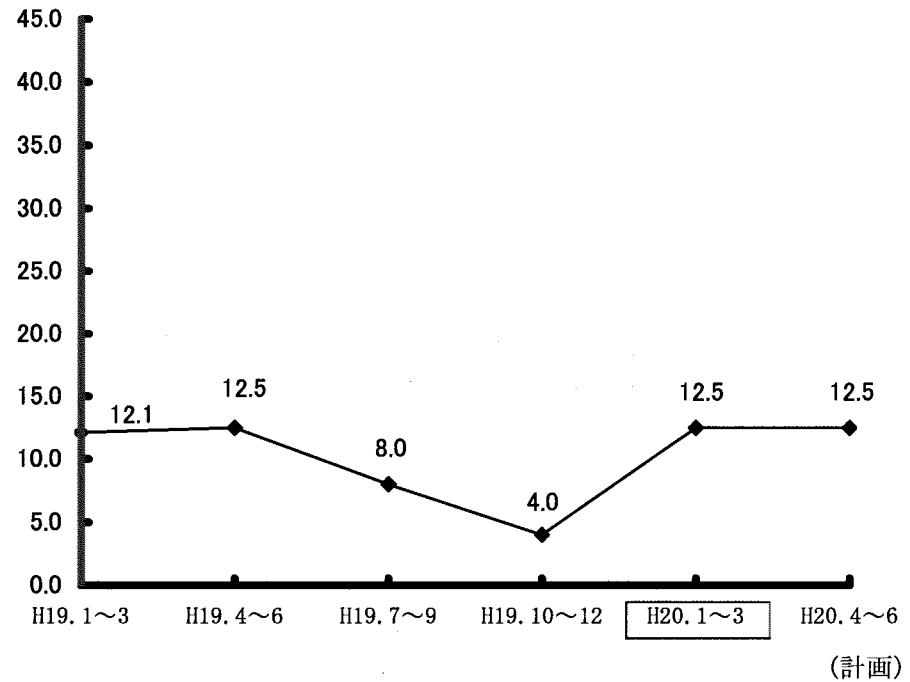


## — 前年同期比 —

### 設備投資

製造業における今期の設備投資は、前期から8.5ポイント上昇した。

来期の設備投資計画は、今期と同水準で、推移すると見込んでいる。



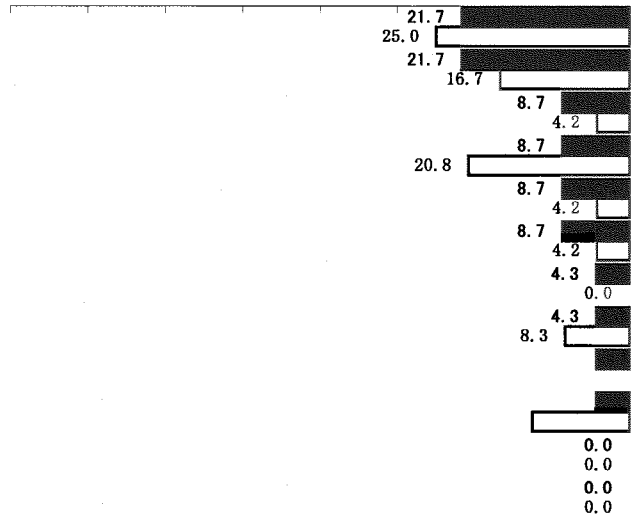
## 経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

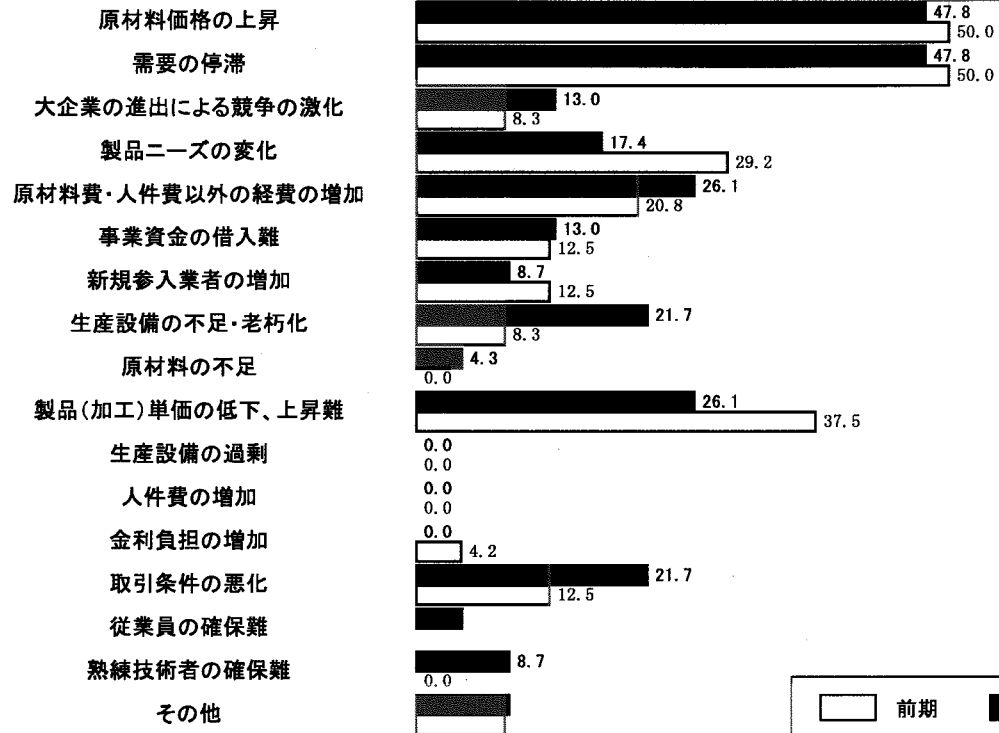
80.0 70.0 60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0



1位~3位の問題点

(目盛:%)

0 10 20 30 40 50 60

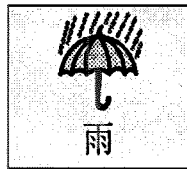


# 建設業の推移

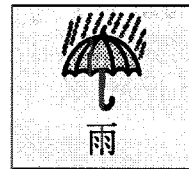
— 前年同期比 —

## 売上高

<今 期>

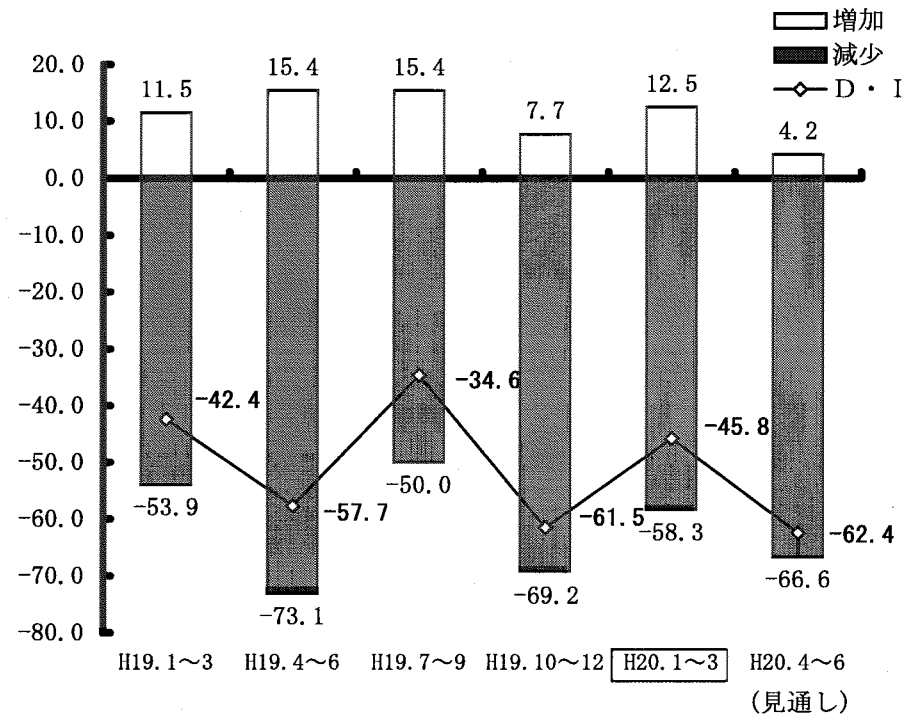


<来期見通し>



建設業の売上高D・Iは、15.7ポイントの改善となった。

また、来期の見通しは、逆に16.6ポイントの悪化となり、一転厳しい状況になると見る向きが強い。



※建設業の売上高は完成工事額

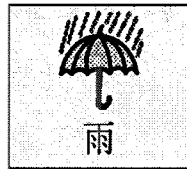


# 建設業の推移

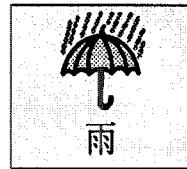
— 前年同期比 —

## 採算

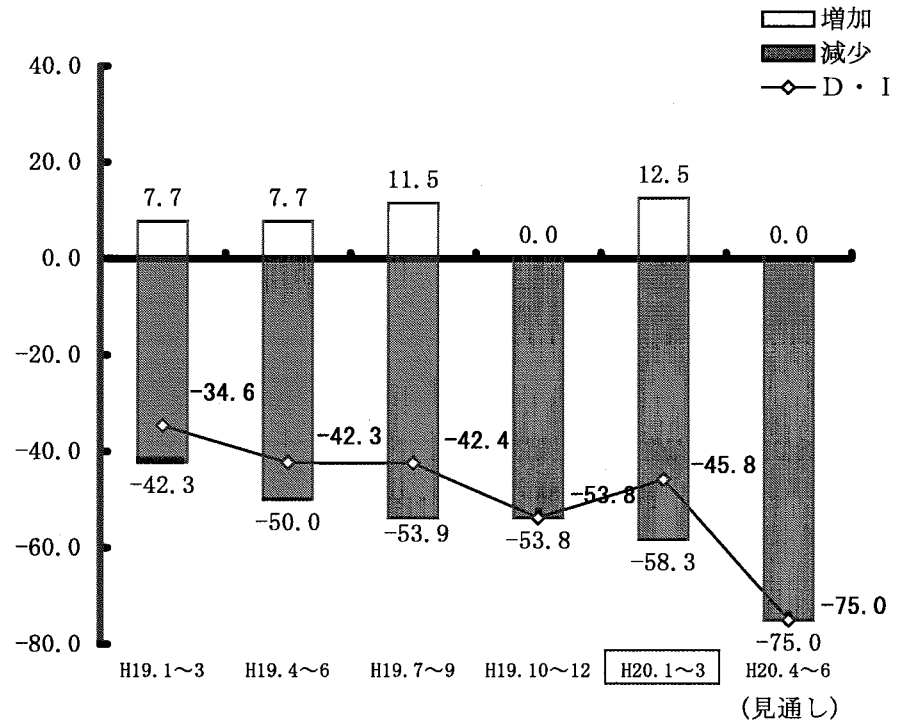
<今 期>



<来期見通し>



建設業の採算D・Iは、8.0  
ポイントの改善となった。  
また、来期の見通しは、29.  
2ポイントと急激な悪化となる見  
通しが強く、業界の厳しさが窺わ  
れる。



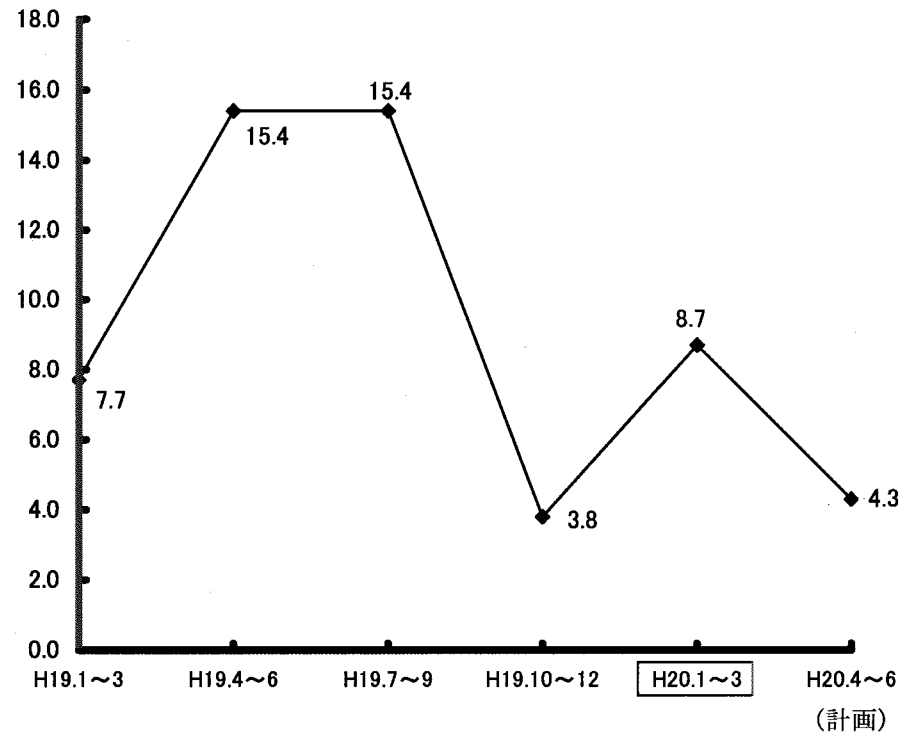
# 建設業の推移

— 前年同期比 —

## 設備投資

建設業における今期の設備投資実績は、前回から4.9ポイント改善で推移した。

来期計画は、4.4ポイント下降と、採算で急激な悪化となる見通しから設備投資を控える向きが強い。



# 建設業の推移

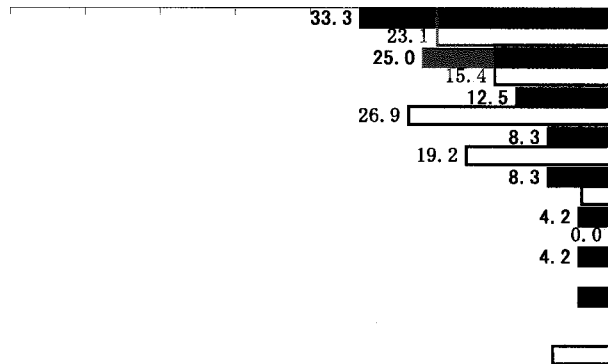
## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

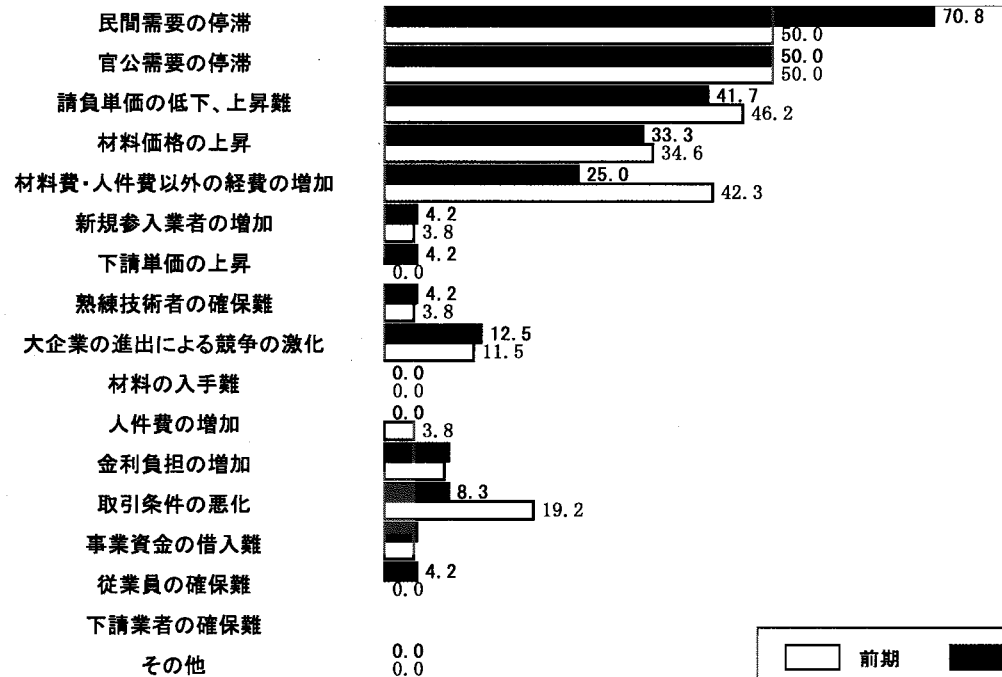
80.0 70.0 60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0



1位~3位の問題点

(目盛:%)

0 10 20 30 40 50 60 70 80



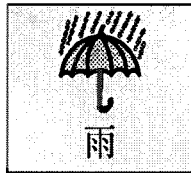
□ 前期 ■ 今期

# 小売業の推移

— 前年同期比 —

## 売上高

<今 期>

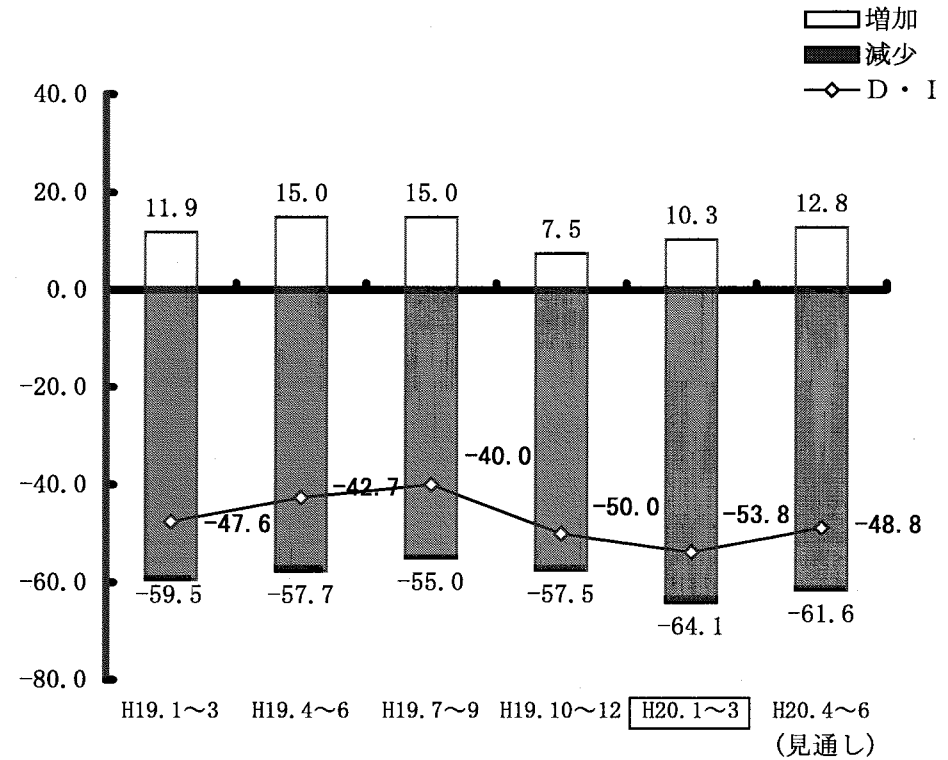


<来期見通し>



小売業の売上高D・Iは3.8ポイント下降したが、ほぼ横ばいで推移し、依然厳しさが窺える。

来期見通しは、5.0ポイントの上昇は見られるが、依然厳しい見通しとなっている。



# 小売業の推移

— 前年同期比 —

## 採算

<今 期>

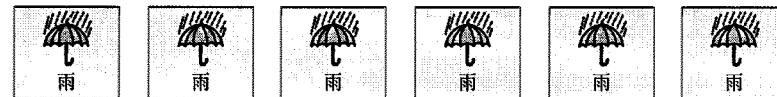
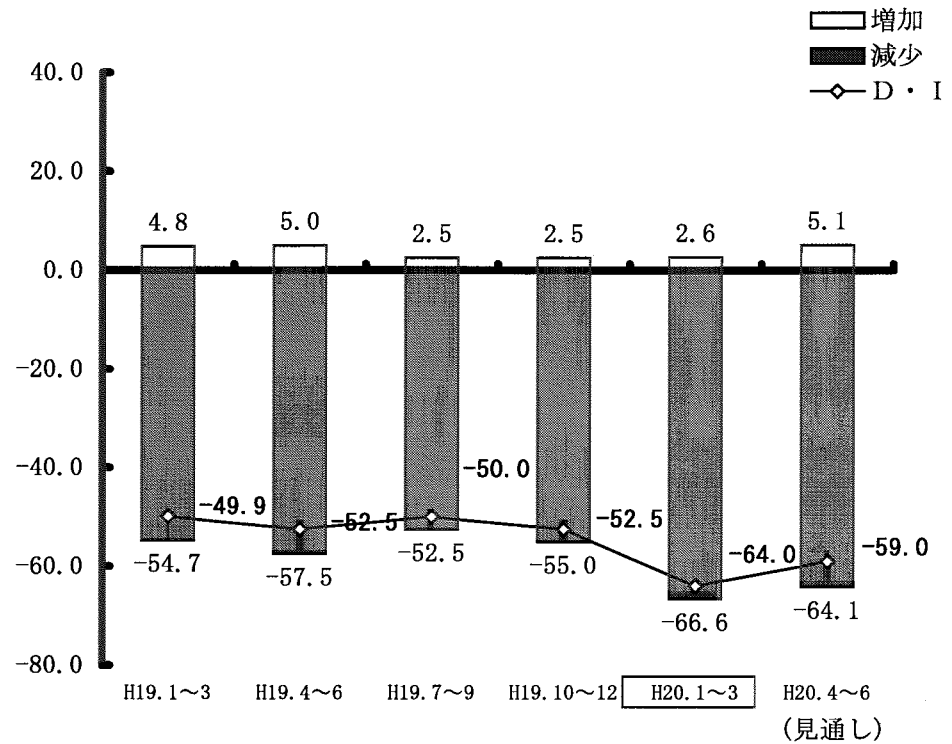


<来期見通し>



小売業の採算D・Iは、11.5ポイントと急激に悪化し、極めて厳しい状況となった。

来期予想は、5.0ポイントの上昇が見られるものの、依然厳しい状況が続いている。



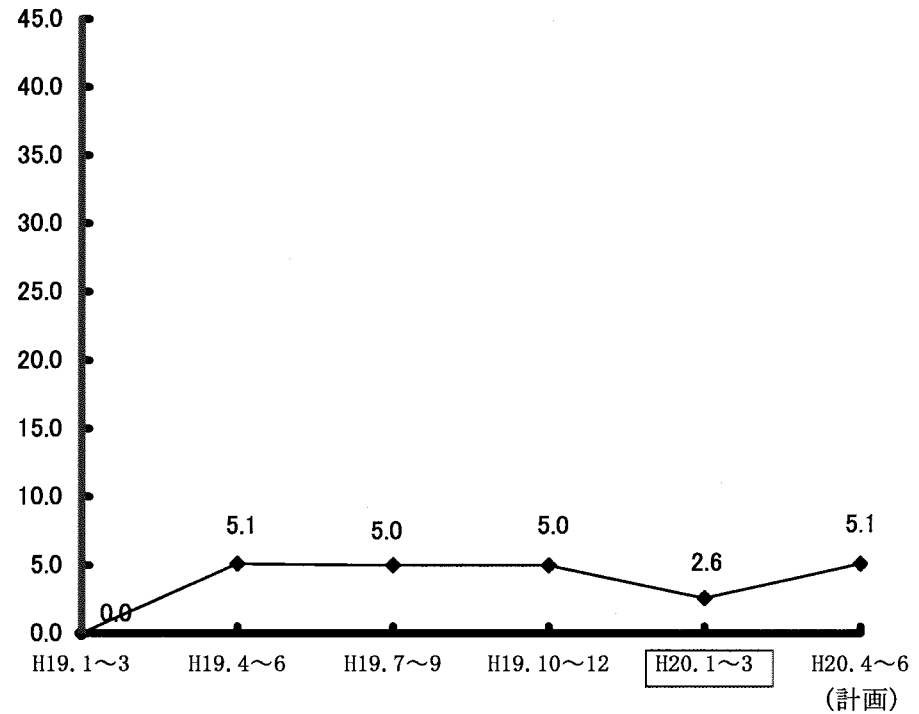
# 小売業の推移

— 前年同期比 —

## 設備投資

小売業における今期の設備投資実績は、前期まで5.0ポイント前後を推移して来たが、2.4ポイント悪化した。

来期の計画については、前期並みに改善するものの、低調に推移すると見込んでいる。



# 小売業の推移

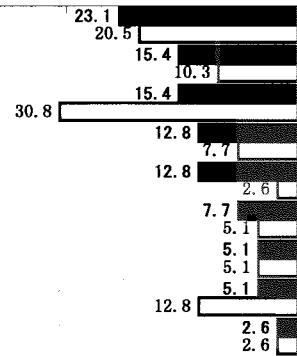
## 経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

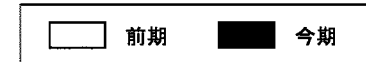
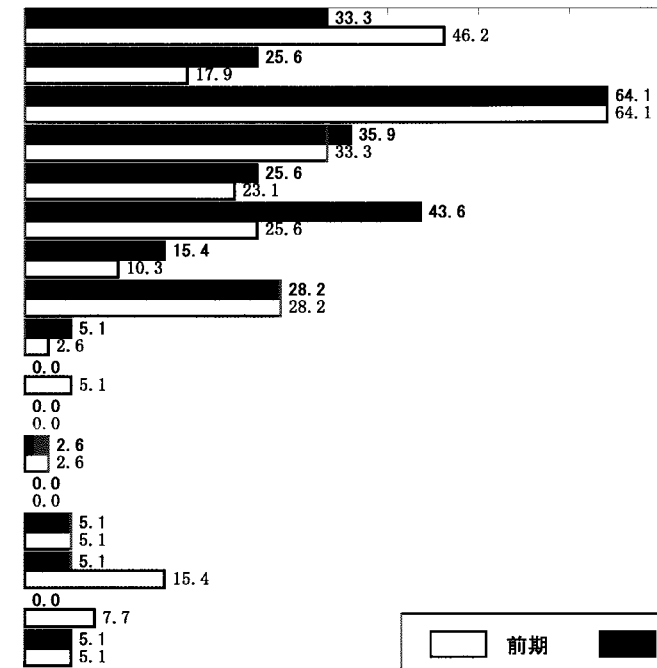
80.0 70.0 60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0



1位~3位の問題点

(目盛:%)

0 10 20 30 40 50 60 70

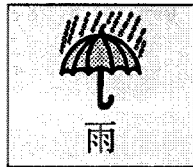


# サービス業の推移

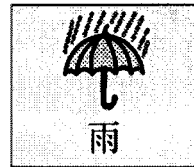
— 前年同期比 —

## 売上高

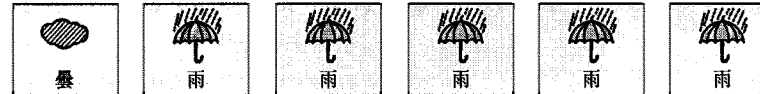
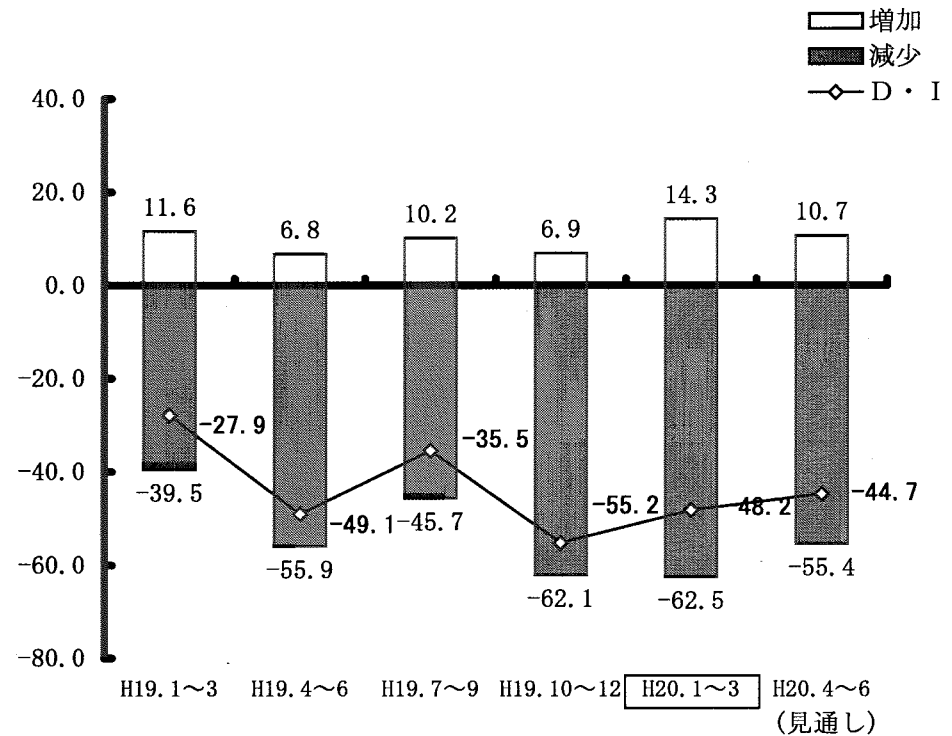
<今 期>



<来期見通し>



今期のサービス業の売上D・Iは、7.0ポイント上昇し、やや改善傾向に向いて来た。  
来期の見通しについても、3.5ポイント上昇し、2期連続改善する推移となる見通しである。

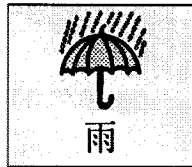


# サービス業の推移

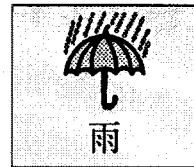
— 前年同期比 —

## 採算

<今 期>

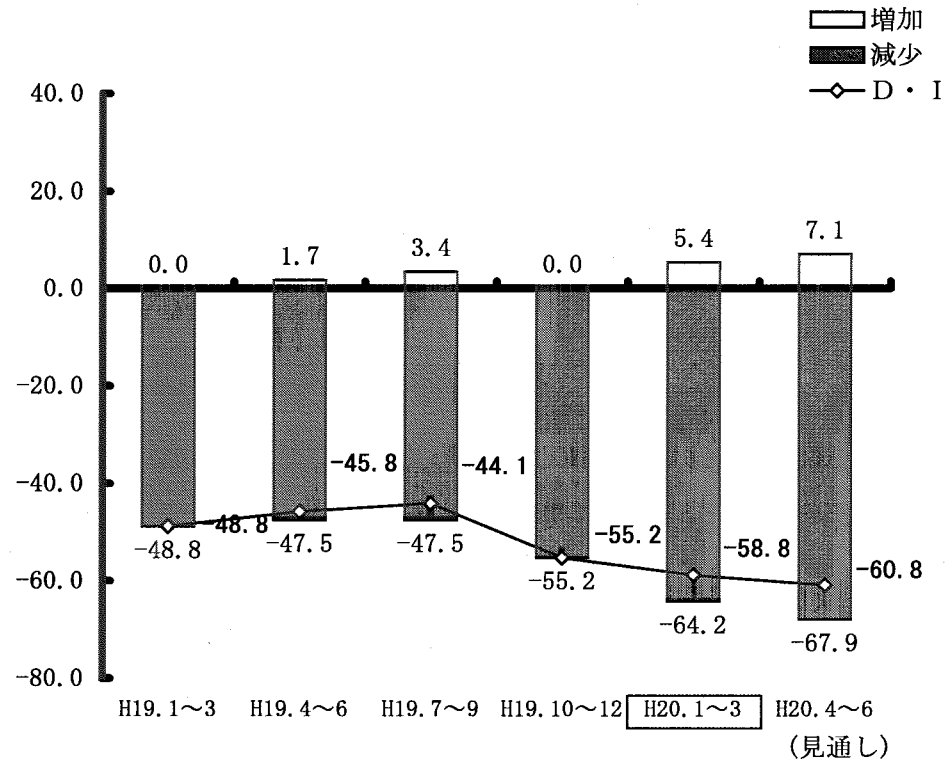


<来期見通し>



サービス業の採算D・Iは、  
3.6ポイント悪化し、2期連続  
の悪化となり、極めて厳しい状況  
となった。

来期の見通しについても、若干  
悪化し、3期連続の悪化なる見通  
しと厳しい状況が続くと見てい  
る。



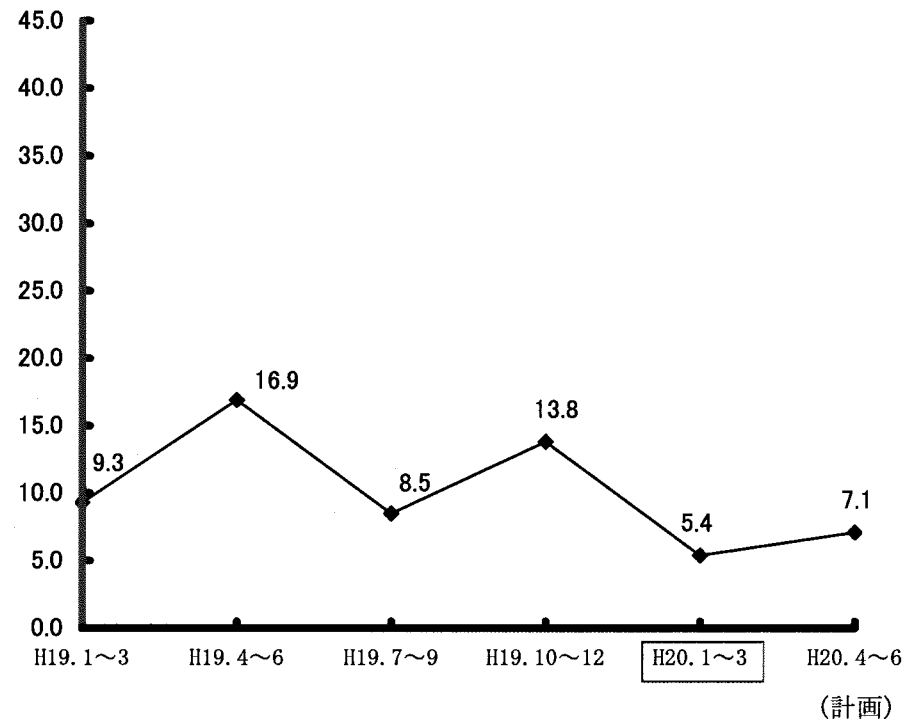
# サービス業の推移

— 前年同期比 —

## 設備投資

サービス業における今期の設備投資は、8.4ポイント下降した。

来期計画は、今期から1.7ポイント改善する見通しである。



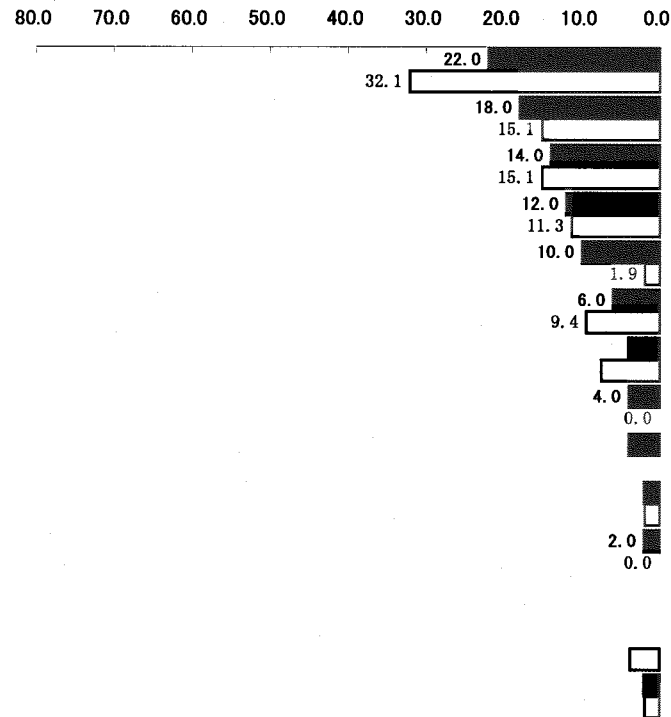
# サービス業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 サービス業

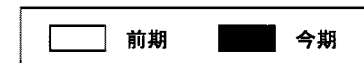
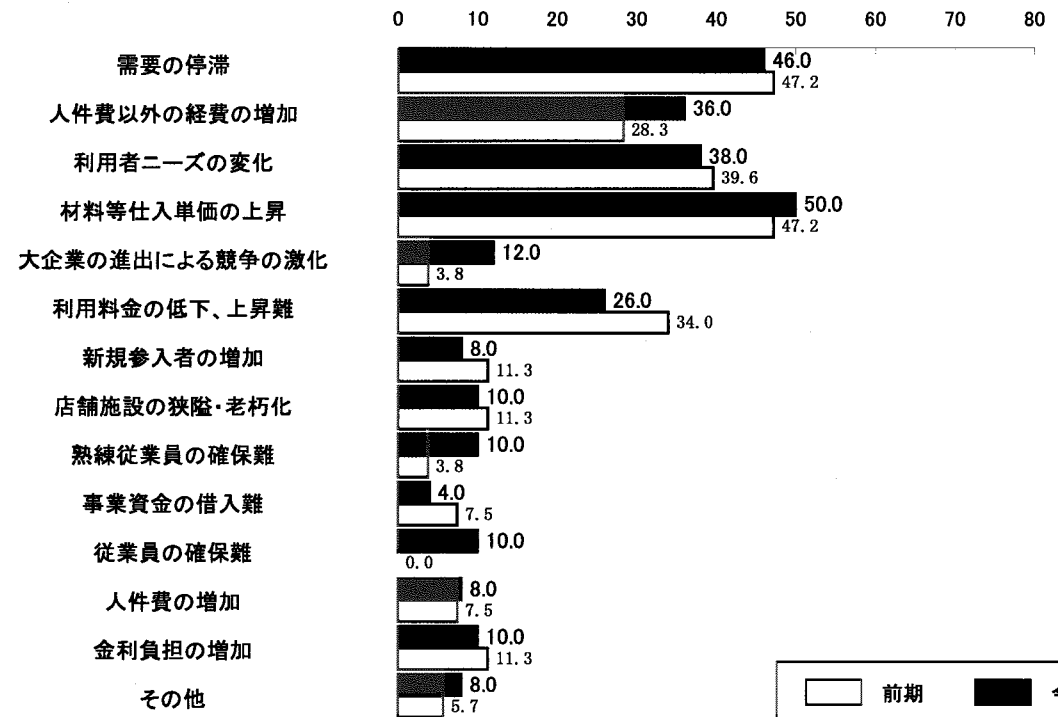
経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点



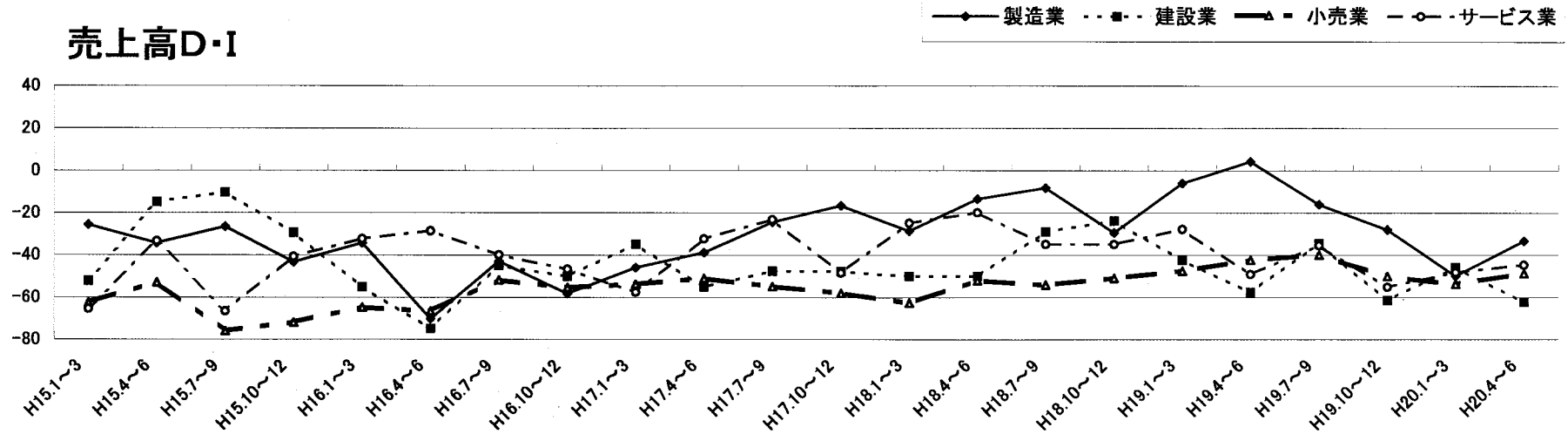
1位~3位の問題点

(目盛:%)

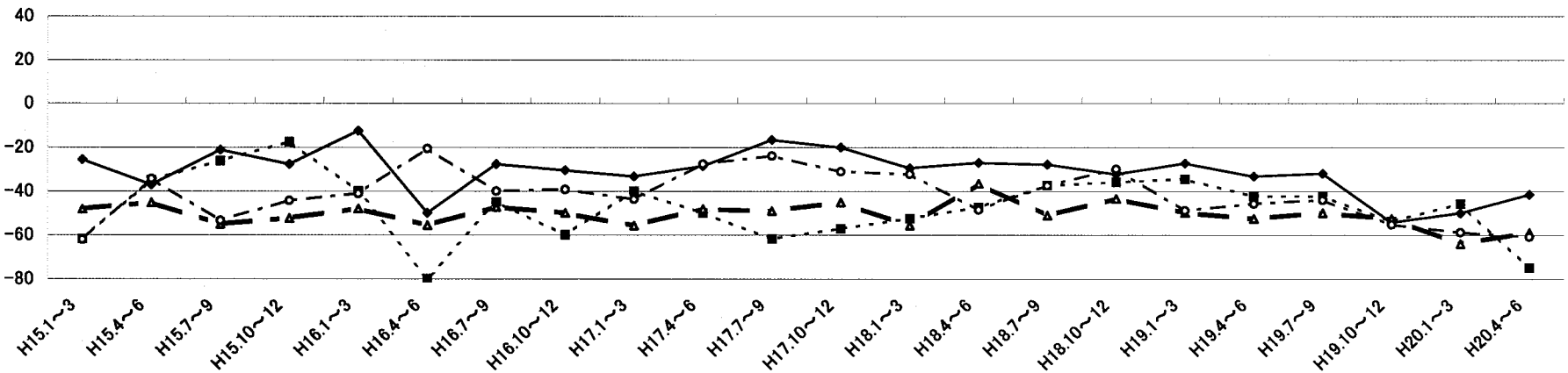


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I



# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調査対象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 陸前高田、葛巻町、紫波町、大迫、金ヶ崎町、  
(商工会名) 衣川、川崎村、大槌、田野畑村、軽米町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 143 企業
2. 調査対象期間 平成20年1月～3月を対象とし、調査時点は平成20年3月5日とした。
3. 調査方法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行った。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行った。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		25 ( 16.7 )	24 ( 16.8 )	96.0
建設業		26 ( 17.3 )	24 ( 16.8 )	92.3
小売業		55 ( 36.7 )	54 ( 37.8 )	98.2
サービス業		44 ( 29.3 )	41 ( 28.7 )	93.2
		150 ( 100.0 )	143 ( 100.0 )	95.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. その他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものである。